

議 事 要 旨 記 録 票

日 時	令和 8 年 5 月 2 5 日（月曜日） 午前 1 0 時から午前 1 2 時まで
場 所	中央公民館 実習室
会議件名	令和 8 年度第 1 回 公民館運営審議会
主な議題	報告事項 （１）公民館まつりの報告 （２）令和 8 年度のアートフェスティバルについて （３）東京都市町村社会教育委員連絡協議会の報告 （４）令和 8 年度の重点事業について ①多様な学びの場構築広域連携事業～「ひのたま ULTLA プログラム」の 実施：多摩市と連携して、多摩地域の社会的資源を活かしながら学校へ 通いづらい子どもたちと、地域活動を行う大人たちが交流できる探求学 習の場を創る。 ②日野本町地区公共施設再編事業：令和 7 年度に策定された「日野本町地 区公共施設再編基本計画」に基づき、再編に向けて社会教育機関として の重要な役割及び新たに発生する業務についての検討・調整を行う。
参 加 者	公民館運営審議会委員 須崎委員、生島委員、今尾委員、丹間委員、斉野委員、諸星委員、木戸場委員、 中野委員、船山委員、吉田委員 事務局 大村生涯学習支援課長（中央公民館長兼務）、郷原生涯学習支援課副主幹（中 央公民館副館長兼務）、岡本生涯学習支援課公民館係長
配布資料	【資料 1】 第 30 期日野市公民館運営審議会名簿 【資料 2-1】 公民館開設 60 周年 公民館まつり「出会い・ふれあい・学びあ い」について 【資料 2-2】 理想の公民館とは？－公民館まつりのコメント相関図－ 【資料 3】 令和 8 年度定期総会議案書 東京都市町村社会教育委員連絡協議会 【資料 4】 ひのたま ULTLA プログラム 【資料 5】 令和 8 年度日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書(令和 7 年度事業) 【資料 6】 日野市まなびあい審議会について

結 果	
主な内容	<u>委員の自己紹介</u> <u>報告事項</u> (1) 公民館まつりの報告 ・資料 2-2 については、来所者からアンケートを A I で取りまとめたものになっている。 (委員) ・公民館まつりについては、参加人数が多い少ないだけが問題ではなく、利用者が一同に会するなかで、公民館をみんなで作り上げていくプロセスが重要であると考えている。アンケート内容は理想とする公民館像が挙げられているが、自分たちが主体的にどのように関わってできるかと言ったことが見えてきていない。る。当日の状況だけではなく、開催までのプロセスとして実行委員会等の経緯を記載したほうがよいのではないか。今回の経緯についても出来ればお教えいただきたい。 (事務局) ・新選組まつりと同日開催することについては、実行委員会でも意見が 2 つに分かれた経緯がある。来場者は多くなるが休憩目的で来ている方も多く、公民館の目的で来ているばかりではない。 ・これまでは、1 2 月に実行委員会を開催するまで何も行ってこなかったが、今年度はそれまでに、以前あったサークル交流会というようなかたちで集まりの場を持ち、今後の公民館まつりの方向性を検討していきたい。 (委員) ・公民館まつりでは成果発表する場ではあるが、来場した方が内容に興味を持ち、新たな利用者を獲得できる大事な入口でもある。サークルの結びつきが強い一方、新しい参加者が入りづらい、敷居が高く思われる面もあるので、公民館まつりはそのハードルを下げる場であってほしいとも考えている ・各サークルも高齢化が進んでいくことになるので、今後に向けた工夫や何のためにまつりを行うのかを思いの共有は必要であり、交流会を行うことは大事と考える。 ・来場者数については、参加団体数の記載のみしかないが、どのくらいの来場者がきたのか、新選組の休憩も兼ねてどのくらい来たのか、展

示、ステージ等何を見に来たのか、市内・市外から来たのか、どういう経緯で来たのかを調べる事が出来れば望ましい。

- ・ AI で作成した資料は、過去の学習データを基にしており一般的な内容になっているので、日野市の公民館としての良さや課題等については抽出していく必要がある。

(事務局)

- ・ 公民館まつりでたくさん来場者が来られる機会をチャンスと捉えて、またアンケートの意見を今後のどうやって生かせるかを検討していきたい。

(2) 令和8年度のアートフェスティバルについて

(事務局)

- ・ 令和8年10月24, 25日に実施予定。特に委員からの意見なし

(3) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会の報告

(事務局)

- ・ 資料3を基に説明。特に委員からの意見なし

(4) 令和8年度の重点事業について

- ①多様な学びの場構築広域連携事業～「ひのたま ULTLA プログラム」の実施：多摩市と連携して、多摩地域の社会的資源を活かしながら学校へ通いづらい子どもたちと、地域活動を行う大人たちが交流できる探求学習の場を創る。

- ②日野本町地区公共施設再編事業：令和7年度に策定された「日野本町地区公共施設再編基本計画」に基づき、再編に向けて社会教育機関としての重要な役割及び新たに発生する業務についての検討・調整を行う。

(事務局)

- ・ 事務局より資料4をもとに説明。

(委員)

- ・ 昨年度からこの事業に関わらせていただいているが、当初は事業の目的等分らない部分が多く、すすめていくなかで地域の社会的資源の活用や地域活動との交流があるのが分かってきた。不登校ぎみの児童へのアプローチも目的の一つとしているが、2日半くらいのプログラムなかで、参加に消極的な児童と関わりを持つのは難しかった。鎌倉市では教育委員会と連携して担任の先生と繋がりをとっていたようである。

講師等関係する方々が、目的やそれに向かって進めるプロセス、ストーリーについて、時間の制限があるが丁寧にすり合わせを行うことで、

より良いプログラムになっていくと思う。

(5) 令和8年度日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書(令和7年度事業)

(委員)

- ・ 例年記載されていた公民館の運営の評価が含まれていないのではないかと、個別の事業については報告書を送っていただいたので良く分かるが、今回の評価書では総括的な意見が省略されているようであり、運営全体の意見を載せることが必要になってくる。
- ・ 令和7年度はおおきな変換点の1年だったのとも考えられる。中央公民館と生涯学習課の統廃合、公運審の廃止・まなびあい審議会への移行の決断、談話室の開放(子ども達の利用増)等が挙げられる。
- ・ 事業の成果と意見がうまく繋がっていない。例えば、市民大学が成果として挙げられているが、市民大学は柱の施策として大きな割合を占めているがそれ以外の事業もあるので、成果にどのように含めるか検討してもらいたい。
- ・ 基本目標1-1の市民大学については、今の文案では公民館がただ実施したようにみえるため、委員の役割、公民館の支援の部分をも明確に分かるような記載がよい、また市民の声を受けて講座を実現することができた等の記載するようにしたほうがよい
- ・ 事業数や総額予算等を各項目ごとに盛り込む方がよいのではないかと。
- ・ 基本目標1-2については改善策が明確でないため、先程公民館まつりのなかで説明があった、交流会の場を設ける等を追加してもらいたい
- ・ 利用者が主体で長年続けている「大掃除」については非常に大切な事業と考えているので意見として追加してもらいたい。
- ・ 基本目標2-3の高幡台分室の出張公民「観」について、今後の取組等の説明をしてもらいたい。
- ・ 出張公民「観」に実際に来場して、三中のみっちゅ団が行った太陽観測を体験した。天文観測は夜だけと思っていたが昼間行える新たな発見があった。高幡台団地が丘陵地で見晴らしの良い場所という地域の特色を生かした取組なので、今後も継続していただきたい。
- ・ 小学校高学年では自分たちで地域の課題を洗い出して何か出来るかを考えるという授業科目がある。この講座にでることでもう一度考えてみたことを確かめてみる等繋げていくことも考えられるので、同様の講座が今後増えていくことを期待する。

	・事業と課題と改善策については、より具体的に記載するようにしていただきたい。講座に関する記載だけではなく、公運審の意見で挙がっているように、そこから繋がる市民の地域への意識や参加についても目を向けていくような記載があったほうがよいのではないか。 ・基本目標３については、継続事業だけではなく、新規事業があり注目すべき点があれば分かるようにしてもらいたい。他の自治体では事業開始年度が含まれているものもある ・重点事業（２）の意見でダブっているところがあるので修正してもらいたい ・重点事業（２）について、家庭教育学級部会事業数が増えているが、実施した学校自体も増えているのか。事業数だけでなく、実施校も増えているのであれば、より大きな成果と考えられる。 ・単語の記載についても指摘あり（社会科学習⇔社会学習、探求⇔探究） ・事務局で修正した評価書を各委員にメールでお送りして確認していただくこととする。 （６）日野市まなびあい審議会について （事務局） ・資料６を基に説明。特に委員からの意見なし
作 成 者	生涯学習支援課 岡本